

セレッソ大阪U-13選抜 スペイン遠征 報告

29th Arnedo Cup ~CIUDAD DEL CALZADO~ 9/8~9/16

スタッフ



団長兼監督:丸山良明(アカデミーダイレクター)

コーチ : 鈴間 晴崇 (U-15コーチ)

コーチ : 中島 高行 (西U-15コーチ)

コーチ : 田端 勇規 (和歌山U-15コーチ)

コーチ : 大島 正寛 (U-12コーチ)

GKコーチ : 笹方 和樹 (アカデミーGKコーチ)

トレーナー: 小倉 俊人 (アカデミートレーナー)



スケジュール



	<u> </u>		
日時	場所	時間(現地)	行動
9月8日(月)/ 9日 (火)	関西国際空港/ドバイ経由 バルセロナ	23:45 15:30/17:00	ホテルチェックイン/トレーニング
9月10日(水)	バルセロナ	-	トレーニング/電車で市内へ移動 グループで昼食 親善試合 vs FC ANDORRA
9月11日(木)	バルセロナ→アルネド	9:00/14:30	移動→アルネド歴史学習
		18:00	トレーニング
9月12日(金)	アルネド		29th Arnedo Cup
		16:00	vs C.A. OSASUNA
		17:30	vs REAL SOCIEDAD
		19:00	vs R.C. CELTA DE VIGO
9月13日(土)	アルネド	9:30	順位決定トーナメント vs REAL BETIS
		17 : 00	順位決定トーナメント vs DREAM TAIWAN
9月14日(日)	アルネド	9:30	順位決定トーナメント vs E.F.ARNEDO
	アルネド→バルセロナ	14:30/21:30	移動
9月15日(月)	バルセロナ	10:00/15:40	FCバルセロナ ミュージアム見学/日本へ出国
9月16日(火)	関西国際空港	17 : 15	帰国 世界で咲き誇る、次の才能を。

アルネド





SAKURA DNA

【2025スペイン遠征の目的】



スペインアルネドの地で、

「SAKURA SPECTACLE」を体現し、

個人・チームとして観客を魅了する

SAKURA DNA

【2025スペイン遠征の目的】



[ON THE PITCH]

世界基準に挑み、自分の基準を高め、表現する

[OFF THE PITCH]

異国の文化や歴史に触れ、世界を取り入れ、

相手チームや現地の方々と、共感する

SAKURA DNA

親善試合(FC ANDORRA 2-1 win)







元バルセロナのピケがオーナーのリーガ2部所属クラブ

SAKURA DNA

29th ARNEDO CUP 出場チーム





☆Arnedo Cup

・参加チーム数 16チーム



- ・グループステージ 4チーム×4グループ のリーグ戦 (試合時間 25分×1)
- ・各グループ上位2チームがノックアウトス テージ進出
- ・ノックアウトステージは20分ハーフ
- ※スペイン国内で開催される大会では最高レベルの大会

SAKURA DNA

29th ARNEDO CUP 試合結果









GS② vs REAL SOCIEDAD 2-0 (シュート7 被シュート3)

得点者 平松 中川



GS③ vs R.C.CELTA DE VIGO 1-1 △ (シュート1 被シュート2)

得点者 安田

※勝点で並び、直接対決の結果によりグループ3位

SAKURA DNA

29th ARNEDO CUP 試合結果





順位決定T① VS で REAL BETIS 0-0 △ PK 1-3 (シュート8 被シュート1)



順位決定T② VS DREAM TAIWAN 4-0 (シュート9 被シュート2)

得点者 安田2 山下 神楽所

順位決定T③ VS



E.F ARNEDO 9-0 (シュート17被シュート0)

得点者 水野 井上 神楽所2 山下 横井 OG 平松 狗巻

※最終結果16チーム中13位

SAKURA DNA

フライト中&ランブラス通り(自分たちで昼食)の様子 🕸 🕒 💮





歴史見学/事前学習/発表(アルネドの歴史&アルネド城) 意



成果と課題



攻撃 成果:技術を駆使しながらゴールに向かうことができた

課題:意図的にボールを前進させることができなかった

守備
成果:前線からの連動した守備の意識・質が高くなった

課題:1試合を通じての集中力(質の追求 判断 & 決断)

自立 成果:観客にならずに自分自身の足でピッチに立とうとしている

課題:まだまだ周りに流されてしまうことが多い

SAKURA DNA

【総括】



- ・今遠征の大目標で掲げた「観客を魅了する」というところまでは辿り着けなかったがON/OFFの目標についてはよくトライした
- ・「一得点、一失点、一プレーの重みと悔しい思い」を噛み締めなが ら帰阪したことが1番の収穫
- ・サッカー理解、状況理解、いわゆる個人戦術においては大きな差(例:プロフェッショナルファールの捉え方)
- ・持ち帰った成果と課題に対しての、13年代としてのテクニカル&自立への取り組みをいかに今後の日常に繋げることができるのか、選手のみならず、スタッフに課せられた大きな責務
- ・ハナサカクラブの始め、多くの皆様への感謝の気持ち、エンブレム の重みを学ばせていただく機会となった

Muchas gracias por una experiencia realmente valiosa



